

鎌ヶ谷市施策評価表(事後)

施策の名称	322利便性の高い公共交通体系の充実		
施策のねらい (めざす姿)	環境に配慮した公共交通を利用して、目的地まで円滑に移動できています。連続立体交差事業等の進展により、交通渋滞が解消されています。		
基本目標	3「躍動感と魅力あふれる交流拠点都市」をめざして	施策担当マネージャー	都市建設部次長
政策	32都市活動を支える交通網整備を進めます	マネージャー氏名	鎗田 淳

I 改革・改善内容(=施策をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	コミュニティバスの増収策の検討及び北総鉄道への運賃値下げ補助に係る効果の検討が必要。	③改革・改善内容	北総鉄道運賃値下げ補助については、補助期間である5年が経過し、期間の延長はしない事となった。コミュニティバスの増収策については、利便性の向上をすることで利用者を増やし増収につなげることとして、運営検討委員会を立ち上げ総合的な検討を行う。
②①に基づく取り組み結果	北総鉄道への運賃補助は、平成26年度で終了し、事業者努力により一部運賃の値下げを実施。コミュニティバスの増収策については、継続して検討を実施。		

II 施策の目的・概要

①目的	対象	市民(公共交通利用者)	意図(対象をどうするのか)	買い物、通勤、通学及び公共施設への移手段の確保
②施策の概要	鉄道、バス、タクシーなどの公共交通網の充実を図り、駅利用者の利便性、安全の確保や鉄道とバス、タクシー等との円滑な連絡を図る。			
③環境分析(状況変化や今後の見込み・市民意向など)	コミュニティバスについては、利用者から土日運行、便数の増加、遅れの解消などの利便性の向上についての要望が多い。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25～26年度の施策の成果	コミュニティバス利用客数 H25年度、78,036人 H26年度、74,771人 (前年比4.2%減)						
②施策成果指標	指標名称		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値(27年度)
	i	鉄道駅乗降客数(1日あたり)	人	189,701	190,010	調査中	192,000
	ii	市内バス利用者数(1日あたり)	人	1,286	1,312	調査中	1,900
	iii						
③基本事業成果指標	i	新京成線連続立体交差事業進捗率	%	53	65	77	72
	ii	公共交通利用者数	人	190,987	191,322	調査中	193,900
	iii	駅前広場整備数	箇所	3	3	3	5
	iv	市内駅エレベータ・エスカレータ設置率	%	83	83	83	83
	v						
	vi						
	vii						
	viii						
	ix						
④施策の事業費	平成25年度決算	平成26年度決算	市民一人あたり事業費(26年度決算)	平成27年度予算			
事業費(千円)	19,979	20,149	(単位:円)	185	21,023		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	コミュニティバスの土日の運行、便数の増加、遅れの解消などの利便性の向上。		
②総合評価	2概ね達成	③総合評価の理由	コミュニティバスは、高齢者等の、地域活動、生涯学習及び買い物などの移手段として、利用がされている。

V 今後の方向性

①成果の方向性	↑ 向上	②コストの方向性	↑ 増加
③特に重点化する事務事業	コミュニティバス運行助成事業		
④上記方向性の説明	今後の高齢化社会向け、高齢者の移手段として、コミュニティバスは、ますます、必要性が高まる。		